

■特集

形・型・可で技術教育の「安楽」を考えよう！(1号)

安楽を図る技術の習得教育 形・型・可に添って：川嶋みどり, 1, 6

技術教育にいま足りないもの——ロールモデルとしての姿勢から：水澤晴代, 1, 14

看護基礎教育における技術の習得過程と安楽の意識化：水戸優子／山口みのり, 1, 21

「非」と「安楽」 看護技術教育における「可」の姿：阿保順子, 1, 28

看護観の伝承(2号)

看護とは科学であり、アートである——伊藤暁子先生に教わった「看護観」「看護教育観」：山西文子, 2, 86

恩師の遺言“看護は患者との信頼のうえに成り立つ”：江川万千代, 2, 92

看護は変化を起こすものである——「村松静子先生の電話」から受け取ったもの：丸山育子, 2, 100

看護師は患者の回復をあきらめない——紙屋克子先生の信じる強さ：日高紀久江, 2, 106

愉しみつつ、教育の信念を貫き具現化する——安酸史子先生の姿勢から：増満誠, 2, 112

カリキュラムを「拡張」しよう！(3号)

準正課教育を活かして、カリキュラムを広くとらえよう：山田剛史, 3, 168

カリキュラム「外」の活動をカリキュラムと結びつけるために：近藤麻理, 3, 174

批判的思考態度を育て、「平和」を問い直す研修旅行：片岡和江, 3, 179

臨床を視野に入れた接遇(おもてなし)教育：高塚由香里, 3, 186

時間外に行く委員会活動で育つ学生の力：佐々木美奈子, 3, 192

あなたの「見方」に現象学を(4号)

現象学はあなたにもきっとおもしろい！——教務主任養成講習会を通して：榊原哲也, 4, 250

実習指導のなかでの教員の経験を振り返る——現象学の視点から：高橋多佳子, 4, 258

現象学的に読む学生のまなざし、教員の学び——看護実習での「経験」をめぐる：前川幸子, 4, 262

私を揺り動かし、新たな意味に気づいていく——看護教員の語り、現象学的分析の試み：西村ユミ, 4, 268

インタビューデータ：4, 275

「気持ちのいい」ケアを教えよう！(5号)

「気持ちのいいケア」は、患者と看護者のその人らしさを支える！：縄秀志, 5, 338

「快適起床ケア」で1人ひとりの朝を創ろう——気持ちのいいモーニングケア：大橋久美子, 5, 346

ケアを通して関係性が深まる——気持ちのいい全身清拭：樋勝彩子, 5, 352

語りを引き出し、希望をつなぐ——気持ちのいい手浴：矢野理香, 5, 356

早期介入で便秘予防！温罨法で気持ちよく！——気持ちのいい排便ケア：佐居由美, 5, 362

看護過程再再考(6号)

今こそ考える、これからの「看護過程」の考え方、教え方：池西静江, 6, 418

実践的な「気づき」を学ぶ必要と、その可能性について——看護過程と「臨床判断モデル」から：佐藤尚治, 6, 424

看護過程の記録に頼らない、看護の実践的知識を深める教育：糸賀暢子, 6, 430

基礎看護学で教授したい「看護過程」とその工夫——デジタルストーリーとワークショップ：村中陽子, 6, 436

論理的に話そう！(7号)

【対談】「根拠」と「主張」をつなぐものについて考えよう——論理的に話すために教員ができること：福澤一吉／中尾みさ子, 7, 496

「論理的に話す」とはどういうことか——Part 1「論理的思考」という表現の誤解を解く：福澤一吉, 7, 504

「論理的に話す」とはどういうことか——Part 2 論証に必要な「論拠」について理解する：福澤一吉, 7, 511

会話を対話にするために——違いを知りトレーニングしてみよう：蓮行, 7, 516

論理的・批判的に考える力をつける方法：荻谷剛彦, 7, 524

論理的に書こう！(8号)

「論理的に書くにはどうしよう」と問う前に、まず問うべきこと：戸田山和久, 8, 588

【対談】看護教員が学べる論理的な書き方：戸田山和久／高口みさき, 8, 596

論理的に書くための3つのヒント：福澤一吉, 8, 604

小さな文章で、まず練習しよう！——《2つの世界》を書き分ける：佐渡島紗織, 8, 612

【第2特集】看護学生・教員エッセイ 入選エッセイの発表(8号)

〔講評〕心の成長への学びと職業人への道程：柳田邦男, 8, 620

〔講評〕捨てる勇氣：宮子あずさ, 8, 624

負の感情からの気づき：門脇詩織, 8, 626

看護って、愛だと思うのです。：本間陵太, 8, 628

彼：原のぞみ, 8, 630

最後の援助——この手に残る感覚：大野史華, 8, 632

生きることへの思い：大矢卓司, 8, 634

虹色の雲に願って：小林珠生, 8, 636

個人から、チームとしての可能性へ：篠原万里栄, 8, 638

痛みと恥ずかしさとバスタオル：新原好美, 8, 640

私の原動力：仁賀正子, 8, 642

私が目指す看護：西山育代, 8, 644

さあ、臨床判断モデル(9号)

クリスティーン・タナー氏 講演録より——臨床判断モデルの概要と、基礎教育での活用：〔監訳〕松谷美和子, 9, 700

臨床判断モデルを看護基礎教育で用いるアイデアとシステ

ム：三浦友理子，9，708
臨床判断力開発のための「思考発話」：池田葉子，9，716
臨床判断モデルに基づいた学習の内容と評価について——
コンセプトを基盤にした学習(Concept-based learning
activities)と、ラサター臨床判断ルーブリック評価
(Lasater Clinical Judgment Rubric)：喜吉テオ紘子／
Ann Nielsen／Kathie Lasater，9，720
オレゴン看護教育コンソーシアム(OCNE)とコンピテン
シーを基盤としたカリキュラムの構築：奥裕美，9，728

「病態関連図」をおもしろく！(10号)

病態関連図の「おもしろさ」と「大切さ」を伝える！：藤井徹
也，10，782
グループワークによる病態関連図の学習——看護基礎教育
での演習の展開：矢富育見子／川本祐子／井上智子，
10，790
看護実践力につながる思考を育てるための試み——学生が
自由な発想で看護を見つけれられるよう「病態関連図」を変
えてみる：波多野文子／高東ひとみ／佐藤真紀，10，796
【座談会】病態関連図をおもしろく書くためにできること：
藤井徹也／関原未沙央／文倉志信／須崎美穂，10，802

使える「患者役」になろう！(11号)

教員や学生が「患者役」になる意義をあらためて考える：屋
宜譜美子，11，870
模擬患者教育の立場からみた「患者役」の演じ方：福井みど
り，11，876
模擬患者に聞く「患者役」のあり方：佐藤睦子／斎藤文江／
長谷川克：〔聞き手〕本誌編集室，11，883
学生の段階的技術試験や新人看護職員合同研修における
「OG ナース」の模擬患者としての活用：若林亜由美／田
口恵美子／高口みさき，11，888
【対談】「演じる」視点からロールプレイを再考する：有馬葉
子／運行，11，896

身体知のリベラルアーツ(12号)

看護教育の危機の時代、なぜ今、「身体知」か：西山悦子，
12，958
看護職者らしさを支える知覚——ある看護学生の「身体知」
が変わるとき：菊池麻由美，12，964
身体知の構造——「身体で知る」ことの三段階：大橋容一
郎，12，970
「身体の教養教育」改革：鈴木守，12，979
新たな身体モデルに向けて：山本敦久，12，986

■ 焦点

第105回看護師国家試験を振り返って
実践での判断を問うものが一層増える傾向：上間ゆき
子，7，534
豊富な看護実践能力が問われ、さらに難易度は上がる
——テキストマイニングによる分析：井野恭子，7，
540

■ 特別記事

看護職員の復職支援強化に向けた看護師等免許保持者の届

出制度：若命真裕子／田村敦宏／石川賢司，2，120
教育が開く看護の時代：鍵となる3つのE——Afaf
Meleis先生講演からの報告：福田正道／坂下玲子，3，
200
基礎・臨床・学生それぞれの「知」が響く「看護教育」の場づ
くりへ——第26回看護学教育学会学術集会会長佐藤紀
子氏インタビュー：〔聞き手〕本誌編集室，6，446
MOSTへの看護教員の招待——授業実践の可視化と共有
を通じた成長する教育改善コミュニティへ：酒井博之，
8，648
ポジショニングで食べる喜びを伝えるPOTT(ぽっと)プロ
グラムの伝承：迫田綾子，10，810
相対的欠格事由改正後、初の保健師・助産師・看護師免許
付与件数の公開——障害をもつ学生を取り巻く状況理解
のための解説：栗原房江，11，906
イタリアにおける看護学教育と自己主導型学習：グレッグ
美鈴／林千冬／脇坂豊美，12，994
オープンダイアログが魅せる、新たなケアのパラダイム
「オープンダイアログを通して対話の可能性を考える」
セミナーレポート：川田美和，12，1002
まっとうさと新しさが、私たちに問いかける：坂下玲子，
12，1006

■ 特別寄稿

看護が看護であり続けるために——過去と未来をつなぐ
メッセージを届ける：川嶋みどり，12，1010

■ 実践報告

安全なケアを提供するための能力の育成——「インシデン
ト・アクシデント報告書」の改訂と活用から：小林美雪
／伏見正江／萩原結花／茂手木明美／吉澤千登勢／西村
明子／須田由紀／森田祐代，1，38

■ 看護教育研究

看護師養成課程における子どもの心に関する教育の実態調
査：船越明子／羽田有紀／角田秋，4，282
学生の自己教育力と特性的自己効力感の関連調査——実習
でのリフレクティブサイクルを通じて：李慧瑛／下高原
理恵／緒方重光／西本大策／相川みづ江／横山美江／橋
本智美／新橋澄子／深田あきみ，8，656
屋根瓦式慢性看護学実習前演習における“教えられる側”学
生への効果——自己効力感、不安の変化および実習にお
ける有効性の検討：谷村千華／野口佳美／西尾育子／酒
井知恵子，10，818

■ ス克蘭ブルゾーン

看護師国家試験前の看護学生に臨床瞑想法を活用したメン
タルトレーニングを試みる：榎本智景／太下大圓，6，
452
学生と教員がもっと話せる時間と場——本校の「出前講座」
の取り組み：藤田京子，8，664
精神看護学教員とピアサポート・グループ——体験と感情
を大切にすること：榊恵子，9，738
学生が主となって授業計画を立案し実施する能動的授業の
効果：山之内由美／筒井洋一，10，824

地域の一員として参画する災害医療訓練——段階的で臨場感のある救護訓練の取り組みと学習効果：長瀬真理子，11，912

■ 笑いの伝道師 W マコトのコミュニケーション革命！：Wマコト

1. なぜ看護に“笑い”が必要なのか？ 笑いの本質は、人を喜ばせる・人を輝かせるコミュニケーション：1，1・44
2. 笑撃！“コミュニケーションの成果”に見える化？ 笑いの世界に存在する魔法の公式：2，81・124
3. コミュニケーションが劇的に変わる！“緊張と緩和”心と心が通じ合うことで笑顔の現場が実現できる：3，163・206
4. 一笑懸命！“聴く”ことで現場が変わる！——一流と呼ばれる芸人さんは聴き手のプロだった：4，245・292
5. 心が通う現場をつくる“伝えるチカラ”——共通・共感・共働で一体感を生み出す：5，333・372
6. 一問一笑！“笑い”は“学び”のエネルギー——笑いのチカラで学習者の興味・関心にアプローチする：6，413・458
7. ／ひな壇芸人から学ぶ！ 究極コミュニケーション術——個を活かし、チーム力・組織力を高める：7，491・556
8. 一流芸人の究極思考！“なんでやねん力”——すべての物事を紐解く力：8，583・678
9. バラエティ現場から学ぶ！“笑認”のすゝめ——承認されると、楽しさと自信、笑顔が生まれる：9，695・756
10. きっと誰かに話したくなる！『芸人都市伝説』——信じるか信じないかはアナタ次第です：10，777・848
11. 一流芸人から学ぶ！1人ひとりを輝かせる「人財笑育コミュニケーション」——すべての人を輝かせるための法則：11，865・936
12. コミュニケーション革命を起こすのはアナタです！——一流芸人金言集：12，953・1028

■ 看図アプローチへの招待

1. 「授業に協同学習を取り入れたいのですが……」それなら看図アプローチです！：鹿内信善／徳永基与子／平野加代子，1，50
2. 看図アプローチは授業マジックです！そのタネあかし：鹿内信善／徳永基与子／山下舞琴，2，132
3. 看図アプローチ，学習者は「みて」何を考える：鹿内信善／徳永基与子／石田ゆき，3，212
4. 看図アプローチだからできる協同学習ファシリテーション：鹿内信善／徳永基与子／平野加代子，4，298
5. 看図アプローチでできるメタ認知指導：鹿内信善／徳永基与子／石田ゆき，5，378
6. 看図アプローチを教科書の学習につなげる：鹿内信善／徳永基与子／山下舞琴，6，464

■ 臨床教育学 わからないこととの出会い：遠藤野ゆり

1. 臨床教育学ってどんな学問？：1，56
2. 「生きづらさ」の研究 ひと（他者）にわかってもらえないということ：2，138
3. 親が子どもをわかるということ わかりすぎるということ：3，218
4. 私は「本当の私」をわからないということ：4，306
5. 社会のなかで自分をわかるということ：5，386
6. わかり合えないことの由来——多様な知覚と認知：6，472
7. 物語としての自己——わかり合えない他者と共に生きる：7，564

■ 考える力を育てるシンキングツールの活用：黒上晴夫

1. シンキングツールが求められる背景：4，290
2. ベン図で比較する：5，370
3. アイデアから考えまでの流れをイメージする：6，456
4. Y／X／Wチャートで多面的にみる：7，554
5. 説得力のある主張を生み出すバタフライ・チャート：8，676
6. クラゲ・チャートで根拠や原因をつかませる：9，754
7. 問題解決のためのフィッシュボーン：10，846
8. ピラミッド・チャートを使って論理的に書く：11，934
9. 質問や疑問をつくるマトリクス：12，1025

■ 東西南北！ 学生募集旅日誌：高塚由香里

1. なんて看護教員が学生募集の旅に？：7，547
2. 北海道の旅の（味の？）おもいで：8，669
3. 「海」から来た新入生の母校を学校長と共に訪ねる：9，771
4. 函館のお寿司屋さんとの出会いに感謝！：10，839
5. 伊賀上野の病院での説明会で卒業生の声を届ける：11，933
6. 本校と縁深い熊本を訪ねる：12，1017

■ グループワークの“達人”への道：三浦真琴

1. まず、教師がアクティブになることから始めよう：7，548
2. 学生の知識獲得スタイルをデザインする「学問モデル」の提案：8，670
3. グループワークの準備——学生が主体的に動くグルーピングの方法 その1：9，748
4. グループワークの準備——学生自身が主体的に動くグルーピングの方法 その2：10，840
5. グループワークの準備——授業初日に学生が体験すること その1：11，926
6. グループワークの準備——授業初日に学生が体験すること その2：12，1018

■ だから私はこう書いた 系看著者のフィロソフィー

1. 「看護学概論」「基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ」／理論と技術をつ

なげて見えてくること：茂野香おる，9，742

2. 「看護学概論」「基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ」／揺るぎない「基礎看護」を伝えるために：茂野香おる，10，834
3. 「精神保健福祉」／地域移行の進展をめざし，基礎教育から精神看護の未来を変える：吉川隆博，11，920
4. 「救急看護学」／すべての看護師に救急の考えを：山勢博彰／清村紀子，12，1012

■アジア、アフリカ、ラテンアメリカの看護教育はいま

10. ケニア 東アフリカの看護界のリーダーとなることへの期待：成瀬和子，1，64
11. バングラデシュ 最貧国からの脱却，看護も次のステージへ：五味麻美，2，146
12. 台湾 看護の役割拡大と質向上をめざして改革を進める：亀井緑，3，226
13. ラオス ニューリーダーたちの奮闘：自国で看護ケアを受けたいと思われるように：嶋澤恭子，4，314
14. 国際的な政策と現場のギャップを埋めるために——タンザニアでの大学院生とのディスカッションを通して考える：新福洋子，5，394

■“医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング：斉藤奈緒美／石川雅彦

21. 伝える体験から学ぶ“プレゼン力”トレーニング：1，70
22. “SBAR”実施におけるアセスメント力・提案力の育成：2，152
23. 体験から学ぶチームトレーニング——上級編：3，234
24. MITT：体験から学ぶチームトレーニング——企画編：4，320
25. 未来を育む——基礎教育と臨床のコラボレーション：5，400
26. 基礎編“学生1人で実施しない(指導を受ける)”を遵守して事例発生を防止する：6，478
27. 基礎編“思い込み”による事例発生を防止する！——事例発生に至るプロセスの見える化と未然防止トレーニング：7，570
28. 基礎編“わからないこと”を明確にして事例発生を防止する！——事例発生に至るプロセスの見える化と未然防止トレーニング：8，684
29. “こうすればうまくいく”を教える医療安全トレーニング：基礎編“コミュニケーションエラー”による事例発生を防止する！——事例発生に至るプロセスの見える化と未然防止トレーニング：9，764
30. “こうすればうまくいく”を教える医療安全トレーニング：基礎編“報告の遅れ”による事例発生を防止する！——事例発生に至るプロセスの見える化と未然防止トレーニング：10，854
31. “こうすればうまくいく”を教える医療安全トレーニング：基礎編“教育不足”にかかわる事例発生を防止する！——事例発生にかかわる課題の見える化と未然防止対策：11，942
32. 状況判断に基づく対応力”で事例発生を防止する！——事例発生にかかわる課題の見える化と未然防止対策：12，1034

■宮子あずさのエキサイティング Writing：宮子あずさ

13. 臨床で強化された人間観をどう書くか：1，76
14. 臨床を語る“対義結合”の言葉：2，158
15. プレゼンテーション資料で倫理を思索する：3，240
16. 感情の表出を観察する：4，328
17. 看護師が外に向けて発言する意味：5，408
18. インタビュー，そして人を描く著述について：6，486
19. 見たいものが見えてしまう話：7，578
20. 文章の手直し：8，690
21. 患者を責めない疾病観をもって書く：9，772
22. 看護師だから書けること：10，860
23. 批判の作法：11，948
24. 書くのはクルシイ？：12，1040

■編集室紀行

第47回日本看護学会—看護教育—学術集会 未来をひらく看護教育 取材記：11，947

■書評

斎藤環著・訳『オープンダイアログとは何か』：〔評者〕橋本久仁彦，2，145

中井俊樹・小林忠資編著『看護のための教育学』：〔評者〕杉原多可子，3，225

安酸史子著『経験型実習教育 看護師をはぐくむ理論と実践』：〔評者〕筒井真優美，3，233

【映評】筒井真優美総監修／川名るり，江本リナ監修・指導／武蔵野赤十字病院 撮影協力『NICU・GCUの看護』全2巻：〔評者〕久保山美穂，4，289

五十嵐ゆかり編著／飯田真理子，新福洋子著『トライ！看護にTBL チーム基盤型学習の基礎のキソ』：〔評者〕栗田佳代子，6，485

【映評】本江朝美監修／横浜創英大学協力『患者さんと心がつながる 看護学生の臨床実習ナビゲーション』：〔評者〕川原由佳里，7，563

一般財団法人 日本がん看護学会監修／渡邊真理・清水奈緒美編集『がん患者へのシームレスな療養支援』：〔評者〕長島緑，7，577

緒方巧著『看護学生の主体性を育む協同学習』：〔評者〕児玉善子，8，689

草間朋子・脊山洋右監修／高野海哉・川岸久太郎・草間朋子著『基本を学ぶ看護シリーズ2 からだの仕組みと働きを知る』：〔評者〕林直子，9，763

河原仁志・中山優季編『快をささえる 難病ケアスターティングガイド』：〔評者〕秋山智，10，817

【映評】山内豊明監修『人体の構造と機能』第1集全4巻：〔評者〕ハッ橋のぞみ，10，833

【映評】郷良淳子・武井麻子監修・企画・原案『精神看護』：〔評者〕田中朱美，11，919

■新刊紹介

1. 37，2. 119，3. 199，4. 281，5. 369，6. 445，7. 533，8. 647，9. 737，10. 809，11. 905，12. 993